



電話機とユーザ

この章では、Cisco Unified Communications Manager 一括管理を使用して、Cisco Unified Communications Manager サーバ上にユーザのグループとその電話機を 1 回のバルク トランザクションで追加する方法について説明します。電話機用の CSV データ ファイルを作成するには、次の 2 つのオプションがあります。

- BAT スプレッドシート (BAT.xlt) を使用し、データを CSV 形式にエクスポートする。
- テキストエディタを使用して、CSV 形式のテキスト ファイルを作成する (経験豊富なユーザ向け)。

[ユーザ付きの電話の挿入(Insert Phones with Users)] オプションにアクセスするには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページのメインメニューから [一括管理(Bulk Administration)] > [電話とユーザ(Phones and Users)] を選択します。

- [新しい電話機とユーザの追加, 1 ページ](#)
- [BAT スプレッドシートを使用した電話機とユーザの追加, 2 ページ](#)
- [電話機とユーザに関連する項目, 3 ページ](#)

新しい電話機とユーザの追加

ユーザと電話機を挿入する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 更新する電話機レコードおよびユーザレコードごとに個々の値を定義するには、カンマ区切り値 (CSV) データ ファイルを作成します。

- [BAT スプレッドシートを使用した電話機とユーザの追加, \(2 ページ\)](#) を参照してください。

- テキストベースの CSV ファイルについては、[電話機とユーザの組み合わせのファイル形式を参照してください](#)。

ステップ 2 ファイル形式と CSV データ ファイルを関連付けます。

- [電話機とユーザのファイル形式の追加](#)を参照してください。

ステップ 3 電話機とユーザ レコードを検証します。

- [電話機レコードとユーザレコードの確認](#)を参照してください。

ステップ 4 電話機とユーザ レコードを挿入します。

- [Cisco Unified Communications Manager への電話機とユーザの挿入](#)を参照してください。

BAT スプレッドシートを使用した電話機とユーザの追加

電話機とユーザを一括して追加するための CSV データ ファイルを作成します。

手順

ステップ 1 BAT.xlt ファイルを見つけ、ダブルクリックして、BAT スプレッドシートを開きます。

BAT.xlt ファイルをダウンロードすることができます。

ステップ 2 プロンプトが表示されたら、[マクロを有効にする] ボタンをクリックして、スプレッドシート機能を使用します。

ステップ 3 スプレッドシートの下部にある [電話-ユーザ(Phones-Users)] タブをクリックします。

ステップ 4 [BAT スプレッドシートを使用した電話機 CSV データ ファイルの作成](#)のステップ 4 ~ 10 の作業を行います。

BAT スプレッドシートでユーザを追加する場合のフィールドの説明については、[表 1](#)を参照してください。

関連トピック

[CSV データ ファイルを作成するための BAT スプレッドシート データの収集](#)

[電話機とユーザに関連する項目、\(3 ページ\)](#)

[ファイルのアップロードとダウンロード](#)

電話機とユーザに関連する項目

- [新しい電話機とユーザの追加, \(1 ページ\)](#)
- [電話機とユーザの組み合わせのファイル形式](#)
- [電話機とユーザのファイル形式の追加](#)
- [電話機レコードとユーザレコードの確認](#)
- [Cisco Unified Communications Manager への電話機とユーザの挿入](#)

